



特に冬に流行します！

ノロウイルスにご注意ください

- 感染経路
- ・ウイルスに汚染された水や食品からの感染
 - ・患者の糞便・嘔吐物からの二次感染や、飛沫などによる感染



潜伏期間（感染から発症まで）は、24～48時間。吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続きます。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状のこともあります。健康な方は軽症で回復しますが、こどもや高齢者などでは重症化したり、嘔吐物を誤って気道に詰まらせてしまうことがあります。

ノロウイルスの感染を拡げないために・・・

手洗いは、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。また、ノロウイルスに感染した人の糞便や嘔吐物には大量のウイルスが排出されます。感染した人が使用した食器類やドアノブ、日用品などの消毒は、次亜塩素酸ナトリウムが有効です。

詳しくは厚生労働省HP
ノロウイルスに関するQ&A



家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できますが、
かならず「使用上の注意」をよく確認してから使用しましょう。

*消毒する物などによって希釈倍率が異なります。

*嘔吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがあります。

現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。このため、通常、対症療法が行われます。特に、体力の弱いこどもや高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を十分に行いましょう。脱水症状がひどい場合には病院で輸液を行うなどの治療が必要になります。

定点種別	疾患名	状況	41週(10/7~10/13)		42週(10/14~10/20)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	—	11	0.44	9	0.36
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	48	1.92	27	1.08
小 児 科	RSウイルス感染症	/	0	0.00	7	0.44
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	3	0.19	5	0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	65	4.06	38	2.38
	感染性胃腸炎	—	38	2.38	36	2.25
	水痘(みずぼうそう)	—	1	0.06	0	0.00
	手足口病	○	145	9.06	154	9.63
	伝染性紅斑(りんご病)	—	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	5	0.31	11	0.69
	ヘルパンギーナ	—	2	0.13	2	0.13
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	1	0.06
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	10	2.00	9	1.80
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	11	2.20	9	1.80
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし